

「ヨシユ」
聖徒伝 59

「恐れるな。
先立つ恵みを受け取ろう」

ヨシュア記1～3章 ヨルダン川を渡る

【今日のアウトライン】

- 0. イントロダクション
- I. ヨシュアへの主の激励 1章
- II. 二人の斥候 2章
- III. ヨルダン川を渡る 3章
- IV. まとめと適用
 - 強くあれ雄々しくあれ
 - 私たちの歩み出すべき一歩



【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

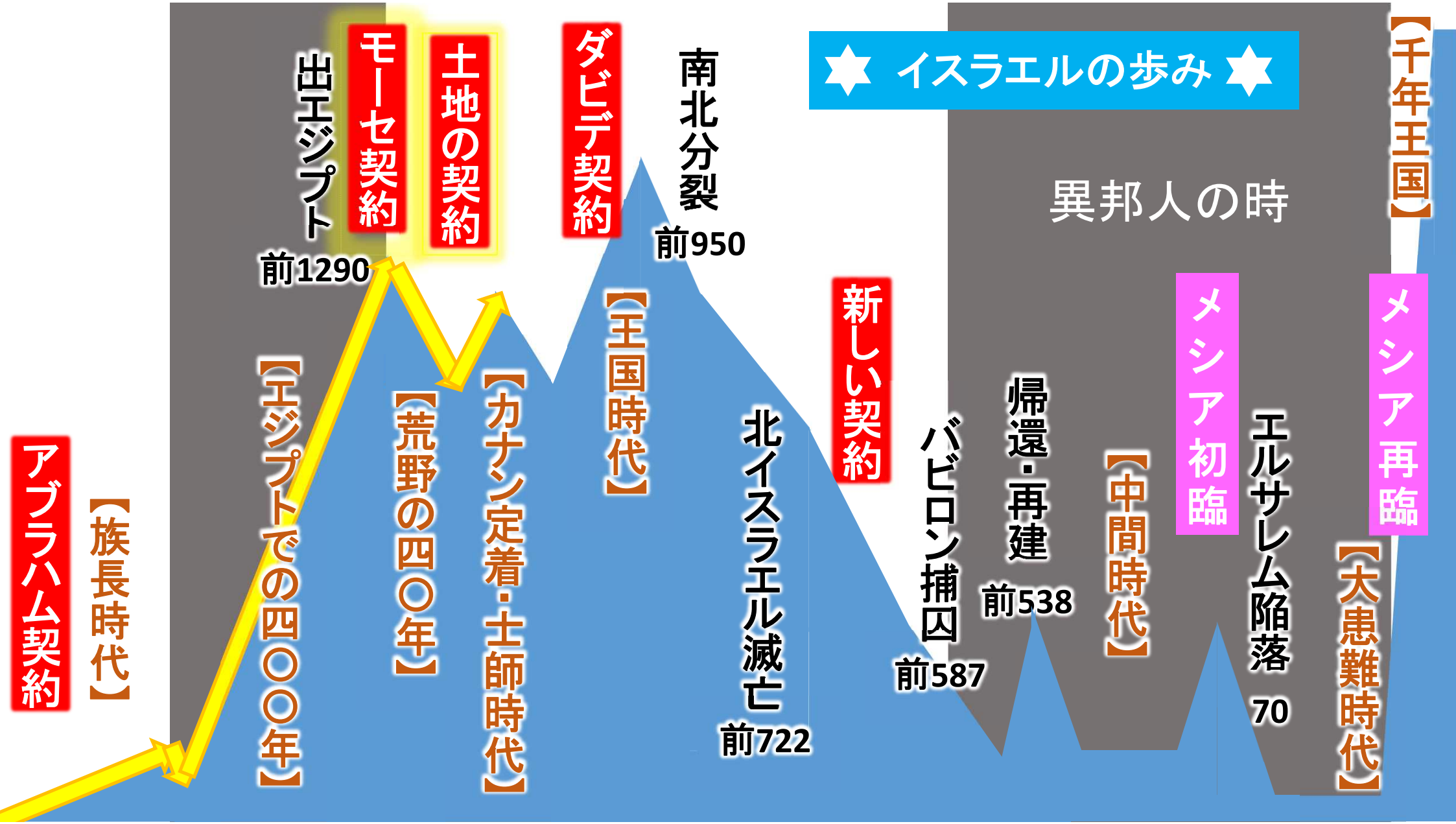
神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

前1290

出エジプト

モーセ契約

土地の契約

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

南北分裂

前950

北イスラエル滅亡

前722

新しい契約

バビロン捕囚

前587

帰還・再建

前538

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落

70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

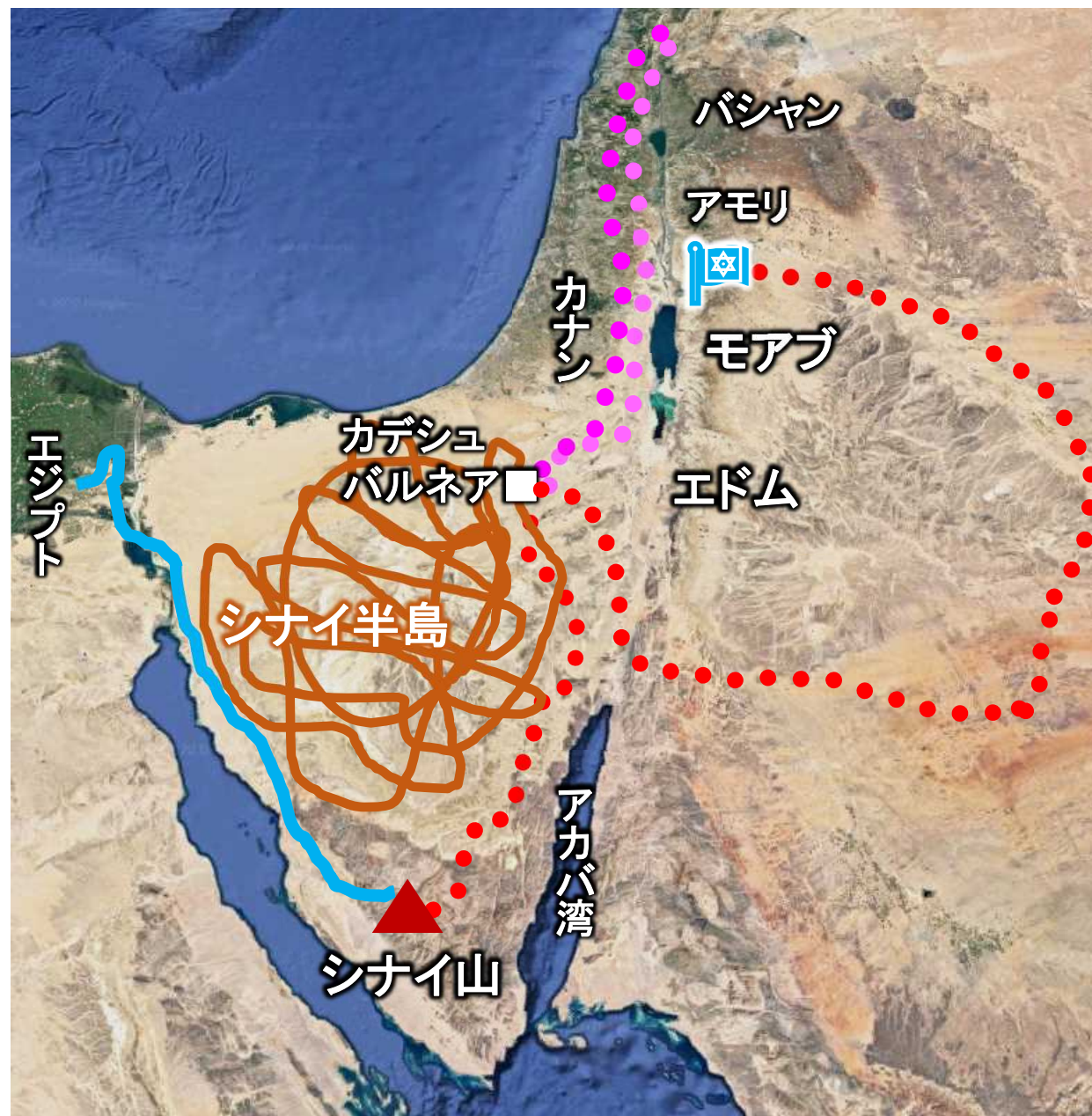
【イスラエルの荒野の40年】

■ エジプトを脱出、シナイ契約を結び、律法を与えられ、神の民となったイスラエル。

■ しかし、神に反逆し、その世代の者は、荒野で死に絶えた。

■ 40年の放浪の末、約束の地ヨルダン川東岸に到達した。

■ カナンの東部を征服し、いよいよヨルダン川を渡る。



【ヨシュア記とは】

■イスラエルの「**歴史書**」の最初の書物。

➡ユダヤ人の区分では「**前期預言者**」の最初。

※聖書の区分

【キリスト教神学】

①**モーセ五書** ②**歴史書** ③**諸書** ④**預言者**

【聖書では】

“律法と預言者”(マタイ7:12他),

“律法と預言者と詩編”(ルカ24:44)

①**律法** ②**預言者(歴史書も)** ③**詩編(他の諸書も)**

■イスラエルをエジプトから導き出すのが、出エジプト記。
約束の地へ導き入れるのが、ヨシュア記。



【ヨシュアのプロフィール】

- エフライム族出身(民13:8)。主エジプトの時、40歳。
- モーセの従者(ヨシ1:1)。モーセから訓練を受けた。
- 最初の戦い(vsアマレク)で指揮を執った(出17章)。
- モーセと共にシナイ山に上った(出32:17)。
- ホセア(救い)からヨシュア(主は救い)へ改名(民13:16)
- カデシュ・バルネア事件では、12人の斥候の一人として約束の地に派遣。カレブと二人、進軍を訴えた。この二人だけが約束の地に入ることを許された。
- 80歳で、モーセの後継者となった。
- 110歳でその生涯を終えた。



【新指導者となったヨシュアに知らされていたこと】

■ヨシュアは、律法を熟知していた。

律法に記された神の警告も胸に刻まれていた。

■イスラエルは、約束の地に入るが、

神に背き、ついには、その地を追われてしまう。

■しかし、流浪の果てに、イスラエルが約束された全地を所有する時が来る。神の約束は守られる。

■ヨシュア(主は救い)という名を与えられたヨシュアは、救いは主にしかないことを思い知らされていただろう。



I. 強く雄々しくあれ

ヨシュア記1章

ネボ山からエリコを臨む



【主の約束を引き継いだヨシュア】 ヨシュア1:1~3

【主】のしもべモーセの死後、【主】はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに告げられた。

「わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこの民はみな、立ってこのヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの子らに与えようとしている地に行け。わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたが足の裏で踏む場所はことごとく、すでにあなたがたに与えている。」

■主は、アブラハム契約、シナイ契約で結ばれた通り、イスラエルに約束の地を与えられる。

➡この契約を、ヨシュアを指導者として

イスラエルは受け継いだ。

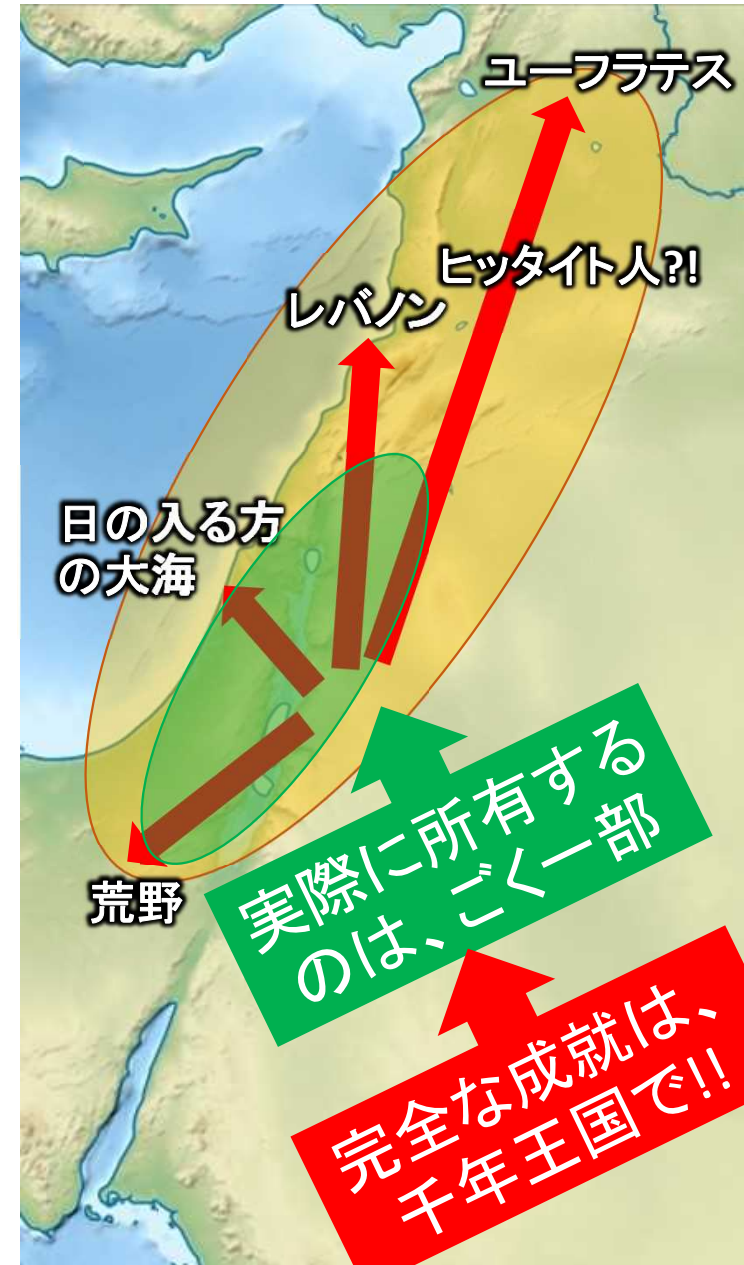


【イスラエルとヨシュアへの約束】 ヨシュア1:4~5
あなたがたの領土は荒野からあのレバノン、そしてあの大河ユーフラテス川まで、ヒッタイト人の全土、日の入る方の大海までとなる。

あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。

【主が約束された二つのこと】

- ①イスラエルへの土地の約束
- ②ヨシュアに対する主の守りの約束



【ヨシュアとイスラエルへの主の激励】 ヨシュア1:6～9
1:6 強くあれ。雄々しくあれ。あなたはわたしが父祖たちに与えると誓った地を、この民に受け継がせなければならないからだ。

1:7 ただ強くあれ。雄々しくあれ。わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法のすべてを守り行うためである。これを離れて、右にも左にもそれてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたが栄えるためである。

1:8 このみおしえの書をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさめ。そのうちに記されていることすべてを守り行うためである。そのとき、あなたは自分がすることで繁栄し、そのとき、あなたは栄えるからである。

1:9 わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、【主】があなたとともにおられるのだから。」

ヨシュアの使命は、
神の約束の地を
民に継がせること

律法を守り行うことが、
勝利の鍵!!

約束の保証は、
共におられる主ご自身!!

【具体的な備え】 ヨシュア1:11～13

1:11「宿営の中を巡って、民に命じなさい。『食糧を準備しなさい。三日のうちに、あなたがたはこのヨルダン川を渡るからだ。あなたがたの神、【主】があなたがたに与えて所有させようとしておられる地を占領するために、あなたがたは進むのだ。』」

1:12 その一方で、ルベン人、ガド人、およびマナセの半部族にヨシュアは言った。

1:13「【主】のしもべモーセがあなたがたに命じて、『あなたがたの神、【主】はあなたがたに安息を与え、この地を与えようとしておられる』と言ったことばを思い出さなさい。

東岸に土地を得た3部族が約束を果たす時が来た!!



【確認される3部族との約束】 ヨシュア1:14～12

あなたがたの妻子たちと家畜は、モーセがあなたがたに与えた、このヨルダンの川向こうにとどまりなさい。しかし、あなたがた勇士はみな、隊列を組み、あなたがたの兄弟たちより先に渡って行って、彼らを助けなければならない。【主】があなたがたの兄弟たちにも、あなたがたと同様に安息を与え、彼らもあなたがたの神、【主】が与えようとしておられる地を所有したら、あなたがたは【主】のしもべモーセがあなたがたに与えた、このヨルダンの川向こう、日の出る方にある自分たちの所有の地に帰り、それを所有することができる。」

主との約束を果たす過程で私たちの信仰は成長する

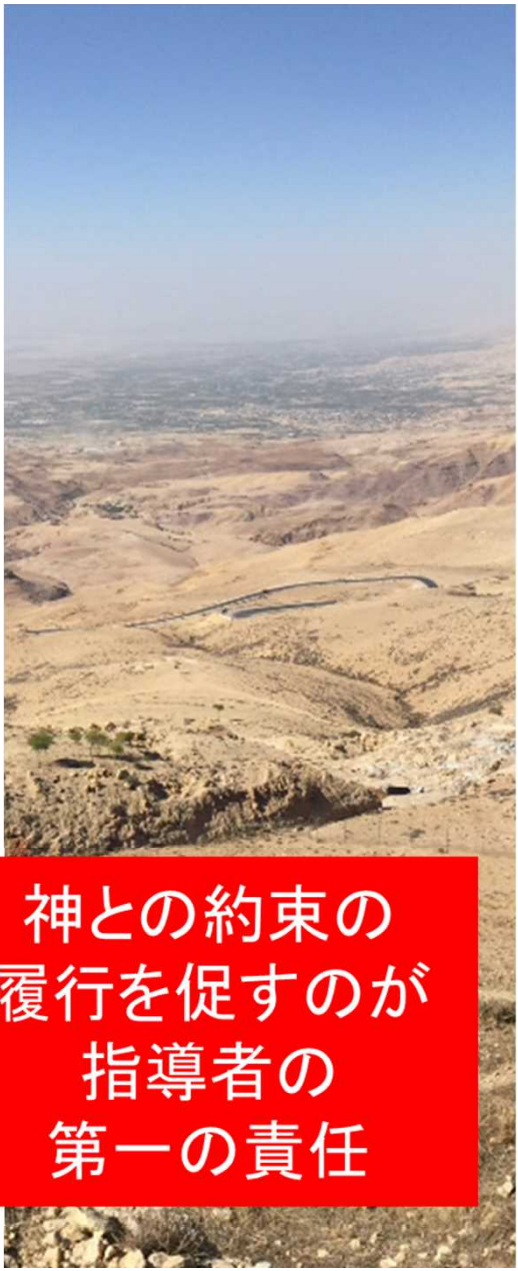


【確認されるヨシュアの指導権】 ヨシュア1:16～18

彼らはヨシュアに答えた。「あなたが私たちに命じたことは、何でも行います。あなたが遣わすところには、どこでも参ります。

私たちは、あらゆる点でモーセに聞き従ったように、あなたに聞き従います。どうかあなたの神、【主】が、モーセとともにおられたように、あなたとともにおられますように。あなたの命令に逆らい、あなたが私たちに命じることばに聞き従わない者はみな、殺されなければなりません。あなたは、ただ強く雄々しくあってください。」

- 過去、実際に実行できていたかは、ともかくとして、
➡ 民は、ヨシュアの指導権を認め、従順を誓った。



神との約束の
履行を促すのが
指導者の
第一の責任

Ⅱ. 二人の斥候

ヨシュア記2章



エリコ城壁跡から誘惑の山を臨む

【派遣されたスパイ】 ヨシュア2:1～3

ヌンの子ヨシュアは、シテムから、ひそかに二人の者を偵察として遣わして言った。「さあ、あの地とエリコを見て来なさい。」彼らは行って、ラハブ*という名の遊女の家*に入り、そこに泊まった。

ある人がエリコの王に、「イスラエル人の数名の男たちが今夜、この地を探ろうとして入って来ました」と告げた。それで、エリコの王はラハブのところに人を遣わして言った。「おまえのところに来て、おまえの家に入った者たちを出せ。その者たちは、この地のすべてを探ろうとしてやって来たのだから。」

* **ラハブ** ...“大きい”。ビッグママ?! 「広い良い地(出3:8)」

* **宿屋も兼?!** ...エリコの“夜の街”に紛れた二人の斥候。



【兵士をあざむくラハブ】 ヨシュア2:4～7

ところが、彼女はその二人をかくまって言った。「そうです。その人たちは私のところに来ました。でも、どこから来たのか、私は知りません。*暗くなって門が閉じられるころ、その人たちは出て行きました。どこへ行ったのか、私は知りません。*急いで彼らを追ってごらん下さい。追いつけるかもしれません。」

彼女は二人を屋上へ上がらせ、屋上に積んであった亜麻の茎の中におおい隠していた。追っ手たちはヨルダン川の道をたどり、渡し場までその人たちを追って行った。門は、彼らを追う追っ手たちが出て行くと、すぐに閉じられた。

* 極限状態で例外的に許容される嘘もある(出1:19)



【イスラエルの神を知っていたラハブ】 ヨシュア2:8～10
二人がまだ寝ないうちに、彼女は屋上の彼らのところへ
上がり、彼らに言った。

「【主】がこの地をあなたがたに与えておられること、私
たちがあなたがたに対する恐怖に襲われていること、そして、
この地の住民がみな、あなたがたのために震えおののい
ていることを、私はよく知っています。あなたがたがエジプ
トから出て来たとき、【主】があなたがたのために葦の海
の水を涸らされたこと、そして、あなたがたが、ヨルダンの
川向こうにいたアモリ人の二人の王シホンとオグにしたこ
と、二人を聖絶したことを私たちは聞いたからです。」

■イスラエルのことは、カナンのに広く知られていた!!



【ラハブの告白と願い】 ヨシュア2:11～13

私たちは、それを聞いたとき心が萎えて、あなたがたのために、だれもが気力を失ってしまいました。あなたがたの神、【主】は、上は天において、下は地において、神であられるからです。

今、【主】にかけて私に誓ってください。私はあなたがたに誠意を尽くしたのですから、あなたがたもまた、私の父の家に誠意を尽くし、私に確かなしるしを与え、私の父、母、兄弟、姉妹、また、これに属するものをすべて生かして、私たちのいのちを死から救い出す、と誓ってください。」

■“主の他に神はいない。” ラハブの信仰告白!!



ラハブの願いは、
信仰者の願い!!

【二人を逃がしたラハブ】 ヨシュア2:14～16

二人は彼女に言った。「私たちはあなたがたに自分のいのちをかけて誓う。あなたがたが私たちのことをだれにも告げないなら、【主】が私たちにこの地を与えてくださるとき、あなたに誠意と真実を尽くそう。」

そこで、ラハブは綱で窓から彼らをつり降ろした。彼女の家は城壁に建て込まれていて、彼女はその城壁の中に住んでいた。彼女は二人に言った。

「山地の方へ行ってください。追っ手たちがあなたがたに出くわすといけませんから。彼らが引き揚げるまで、三日間そこに身を隠していてください。その後で、あなたがたが行く道を行かれたらよいでしょう。」



【ラハブへの二人の誓い】 ヨシュア2:17～20

二人は彼女に言った。「もしこのようにあなたが行わないなら、あなたが私たちに誓わせた、あなたへのこの誓いから私たちは解かれます。

見なさい、私たちはこの地に入ってきて来ます。私たちをつり降ろした窓に、この赤いひもを結び付けておきなさい。あなたの父、母、兄弟、そして、あなたの一族全員をあなたの家に集めておきなさい。あなたの家の戸口から外に出る者がいれば、その人の血はその人自身の頭上に降りかかり、私たちに罪はありません。しかし、あなたと一緒に家の中にいる者のだれにでも手が下されたなら、その人の血は私たちの頭上に降りかかります。

だが、もしあなたが私たちの、このことをだれかに告げるなら、あなたが私たちに誓わせた、あなたへの誓いから私たちは解かれます。」



相互の約束に
基づく誓い

約束の民に
ふさわしい姿勢

【二人の斥候の帰還・報告】 ヨシュア2:21～24

彼女は「おことばどおりにしましょう」と言い、二人を送り出した。彼らは去り、彼女は窓に赤いひもを結んだ。彼らはそこを去って山地の方へ行き、追っ手たちが引き揚げるまで、三日そこにとどまった。追っ手たちは道中くまなく捜したが、彼らは見つからなかった。

二人は帰途についた。山地から下り、川を渡り、ヌンの子ヨシュアのところに来て、その身に起こったことをことごとく彼に話した。

彼らはヨシュアに言った。「【主】はあの地をことごとく私たちの手にお与えになりました。確かに、あの地の住民はみな、私たちのゆえに震えおののいています。」



使命を果たした
二人の斥候

カデシュの
時とは違う!!

Ⅲ. ヨルダン川を渡る

ヨシュア記3章



【ヨルダン川の岸辺で】 ヨシュア3:1～4

ヨシュアは翌朝早く起き、すべてのイスラエルの子らとともにシティムを旅立ち、ヨルダン川のところまで来て、それを渡る前にそこに泊まった。

三日後、つかさたちは宿営の中を巡り、民に命じた。「あなたがたの神、【主】の契約の箱を見、さらにレビ人の祭司たちがそれを担いでいるのを見たら、自分のいる場所を出発して、その後を進みなさい。

あなたがたが行くべき道を知るためである。あなたがたは今まで、この道を通ったことがないからだ。ただし、あなたがたと箱の間に二千キュビト(約900m)ほどの距離をおけ。箱に近づいてはならない。」



十戒を収めた
契約の箱、
神の言葉が、
イスラエルを導く

【予告される神の奇跡】 ヨシュア3:5～8

ヨシュアは民に言った。「あなたがたは自らを聖別しなさい。明日、【主】があなたがたのただ中で不思議を行われるから。」 ヨシュアは祭司たちに「契約の箱を担ぎ、民の先頭に立って渡りなさい」と命じた。そこで彼らは契約の箱を担ぎ、民の先頭に立って進んだ。

【主】はヨシュアに告げられた。

「今日から全イスラエルの目の前で、わたしはあなたを大いなる者とする。わたしがモーセとともにいたように、あなたとともにいることを彼らが知るためである。あなたは契約の箱を担ぐ祭司たちに『ヨルダン川の水際に来たら、ヨルダン川の中に立ち続けよ』と命じよ。」

この奇跡は、
ヨシュアの正当性
を保証するしるし



【民に語りかけるヨシュア】 ヨシュア3:9～10

ヨシュアはイスラエルの子らに言った。「ここに来て、あなたがたの神、【主】のことばを聞きなさい。」

ヨシュアは言った。「生ける神があなたがたの中において、自分たちの前からカナン人、ヒッタイト人、ヒビ人、ペリジ人、ギルガシ人、アモリ人、エブス人*を必ず追い払われることを、あなたがたは次のことで知るようになる。」

*カナン先住民の代表的な七部族。(他にもいる)

➡七は完全数。カナンを完全に追い出すことを示す。

■約束の究極的な成就是、やはり千年王国において!!



【み言葉に従い歩みだすイスラエル】 ヨシュア3:11～13

見よ。全地の主の契約の箱*が、あなたがたの先頭に立ってヨルダン川を渡ろうとしている。

今、部族ごとに一人ずつ、イスラエルの部族から十二人を取りなさい。(➡記念の石を拾う係:4章)

全地の主である【主】の箱*を担ぐ祭司たちの足の裏が、ヨルダン川の水の中にとどまるとき、ヨルダン川の水は、川上から流れ下る水がせき止められ、一つの堰となって立ち止まる。」

* 神の契約が民を導く ➡繰り返し確認されること!!

■しるしは、前もってヨシュアを通して予告され、
予告されたとおり、完全に実現された。➡預言者の条件。



【せき止められるヨルダン川】 ヨシュア3:14～16

民がヨルダン川を渡ろうとして彼らの天幕から出発したとき、契約の箱を担ぐ祭司たちは民の先頭にいた。箱を担ぐ者たちがヨルダン川まで来たとき、ヨルダン川は刈り入れの期間中*で、どこの川岸にも水があふれていた。ところが、箱を担ぐ祭司たちの足が水際の水に浸ると、川上から流れ下る水が立ち止まった。一つの堰が、はるかかなた、ツアレタンのそばにある町アダムで立ち上がり、アラバの海、すなわち塩の海へ流れ下る水は完全にせき止められて、民はエリコに面したところを渡った。

* 雨季の後、4月上旬頃か。...最も水が多い期間。



【ヨルダン川を渡るイスラエル】 ヨシュア3:17
【主】の契約の箱を担ぐ祭司たちは、ヨルダン川の真ん中の乾いたところにしっかりと立ち止まった。イスラエル全体は乾いたところを渡り、ついに民全員がヨルダン川を渡り終えた。

- 葦の海を渡った出エジプトの奇跡の再現。
 ➡ 新世代のイスラエルは、追体験した!!
- モーセに働かれた、同じ唯一の神が、
 ヨシュアと共におられ、民を導かれる。

主の御言葉に聞き従うなら、
信仰者の道は必ず拓かれていく!!



まとめと適用

強くあれ雄々しくあれ
私たちの歩み出すべき一歩



【ラハブに学ぶ。異邦人のあるべき信仰】

- ラハブは、見聞きしたことから、イスラエルの主を恐れ、信じ、告白した。命をかけるリスクを冒して、二人の斥候をかくまい、逃がし、主に従った。
➡ラハブ(大きい)という名にふさわしい信仰が、その行動に現れている。

ヘブル11:31「信仰によって、遊女ラハブは、偵察に来た人たちを穏やかに受け入れたので、不従順な者たちと一緒に滅びずにすみました。」

ヤコブ2:25「同じように遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したので、その行いによって義と認められたではありませんか。」

- ラハブは、メシアの家系を継ぐ一人となった。(マタイ5:5)

➡福音を信じた者は、キリストの花嫁、御国の共同相続者とされている。

【強く、雄々しくあれ。ヨシュアを励まされた主】

- ヨシュアは、指導者を継ぐ以前、モーセから民の裏切りを告げられた。
イスラエルは神に背き、約束の地を追われることになる。

- モーセ亡き後、ヨシュアは、どれほど、恐れ、おののいたことだろうか？
だからこそ、主は、繰り返し、ヨシュアを励まされた。
「強く、雄々しくあれ」と。

- ヨシュアを支えたのは、主の約束。
 - ★主がヨシュアと共におられ、その生涯を祝福される。
 - ★イスラエルはなお見捨てられることなく、
約束の土地を完全に所有する時は来る。

【強く、雄々しくあれ。ヨシュアと同じく励まされた聖徒たち】

■「雄々しくあれ」 → “アマツ” 奮い立つ。補強する、勝ち誇る。固く立つ。

■ ルツ1:18「ナオミは、ルツが自分と一緒にいこうと固く決心しているのを見て、もうそれ以上は言わなかった。」

■ II 歴代 13:18「イスラエル人はこのとき屈服させられ、ユダ人は勝利を得た。彼らがその父祖の神、【主】に拠り頼んだからである。」

→南王国アビヤ王が、不信仰の北王国ヤロブアム王を打ち破った時。

■ I 歴代22:13「【主】がイスラエルのためにモーセに命じられた掟と定めをあなたが守り行うなら、あなたは栄える。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。」

→年若く王となったソロモンを、ダビデが励ました時。

【ヨシュアのように、強く雄々しく遣わされていこう!!】

■ヨシュアの個人的エピソードを聖書は記さない。➡特筆することはない。

ヨシュアは決して、特別な人ではなかった。

■ヨシュアは、ただ信仰と恵みによって救われたことをよく知っていた人。

ヨシュア(主は救い)という、その名の通りに。

■主は、名もなく力もない小さな一人を、信仰のゆえに固く立たせ(アマツ)、主のご計画のために支え(アマツ)用い、勝利を得させて(アマツ)くださる。

イザヤ 41:10 恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。

■主の約束を信頼して、各々示された道に、今、一步、踏み出していこう。

「天のお父さま。

わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖(あがなう)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したこと、を信じます。

ヨシュアはただ、主を信じた信仰(しんこう)により、恵みによって救(すく)われました。

ただ主に励(はげ)まされ、力を与(あた)えられて、踏(ふ)み出しました。

主が、私とも共にいてくださいます。御霊(みたま)の満(み)たしの内に、

歩みだすべき次の一歩へ、押(お)し出してください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。

アーメン」